



令和7年度

浪江町町政懇談会 説明資料

令和7年10月・11月



目次

1. 住民登録者・町内居住者の状況...	1
2. 主要事業等.	2
3. 健康・福祉・介護.	10
4. 生活支援.	14
5. 各種減免制度等.	17
6. 住環境整備.	20
7. 子育て・教育支援.	21
8. 文化・スポーツ振興.	24
9. 防犯・防火・災害対策.	25
10. 商工業.	26
11. 農林水産業.	27
12. 浪江国際研究学園都市構想.	30
13. 駅周辺整備事業.	31

資料1 各種支援制度.	32
資料2 町内交通.	37
資料3 医療機関等.	38
資料4 F-REI .	40
資料5 行政区長一覧.	41
資料6 情報発信.	42
浪江町役場関係連絡先 .	43

1 住民登録者・町内居住者の状況

(1) 町内居住者

浪江町内には2,383人が居住しています。避難先は福島県内が約7割、県外が約3割となっています。

(令和7年8月末現在)

町内居住者	避難先の割合	
	県内	県外
	2,383人 移住者数：898人	12,923人
		5,863人

※移住者数：平成23年3月11日時点で
住民登録がなかった人数です。
(令和3年以降計測)

※上記人数は、震災当時浪江町民だった人（支援対象者）及び
震災後、支援対象者の世帯構成員となった人の人数です。

(2) 住民基本台帳人口の推移

住民基本台帳	男	女	計
平成23年3月末現在人口	10,540人	11,002人	21,542人
令和7年8月末現在人口	7,090人	7,190人	14,280人

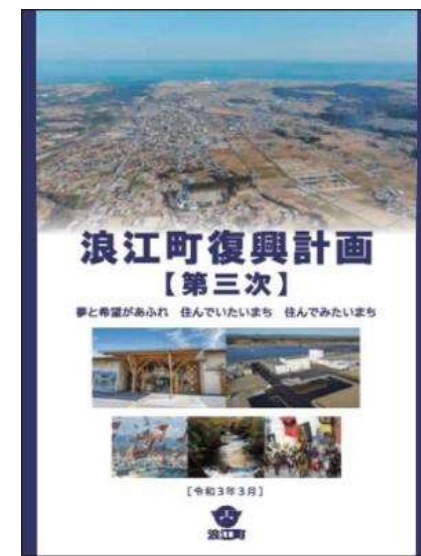
2 主要事業等

(1) 浪江町復興計画【第三次】後期基本計画の策定

浪江町復興計画【第三次】は、東日本大震災により甚大な被害を受けた本町の復旧・復興を実現していくための道標とする、町の最上位計画です。

復興の理念である「夢と希望があふれ 住んでいたいまち 住んでみたいまち～なかよく みんな えがおの 花咲くまち なみえ～」の実現に向け様々な施策に取り組んでいます。

前期基本計画が今年度に終了することから、これまでの成果や課題を検証し、後期基本計画への改訂に向け、見直しを進めています。



基本方針Ⅰ 夢と希望のある産業と仕事づくり

基本方針Ⅱ 未来を担う人づくり

基本方針Ⅲ 帰還困難区域の再生と住みよい環境づくり

基本方針Ⅳ 健康と福祉のまちづくり

基本方針Ⅴ 絆の維持と持続可能なまちづくり

年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	令和11	令和12
基本構想	基本構想(10年)									
基本計画	前期基本計画(5年)					後期基本計画(5年)				



町民ワークショップの様子

2 主要事業等

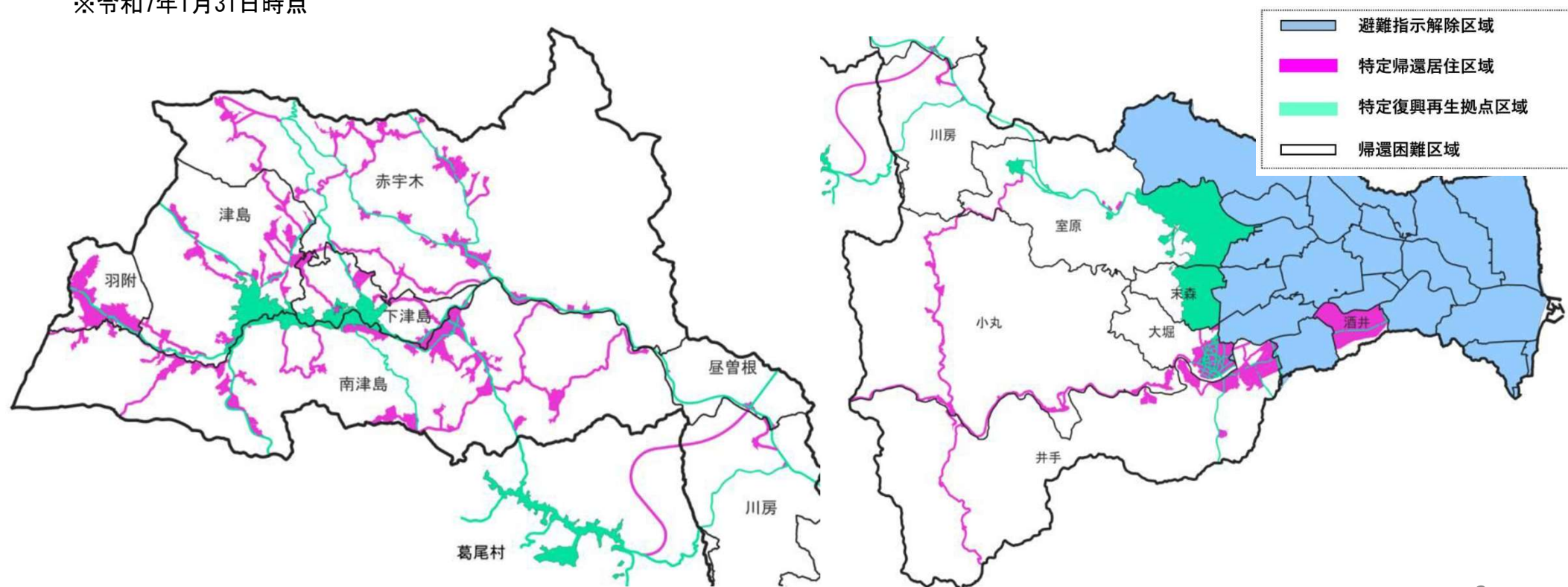
(2) 帰還困難区域の復興・再生

「2020年代をかけて、帰還意向のある住民の方が帰還できるよう、避難指示解除の取組を進める」という政府方針に基づき、「特定帰還居住区域復興再生計画」を、令和6年1月16日付けで国より計画の認定を受け、同年6月より順次除染が進んでいます。令和7年には、2回目の帰還意向調査を実施し、令和7年3月18日付で追加変更の認定を受けました。

【計画面積】 940ha

【帰還意向調査結果】 帰還意向あり(332世帯) 帰還意向なし(204世帯) 未回答(268世帯)



※令和7年1月31日時点



2 主要事業等




(3) 令和7年度主要事業

① 農林水産業の再興・新たな産業と雇用の創出

事業名	内容	事業費
畜産施設整備事業 	令和7年度末の完成を目指し、飼養頭数2,000頭の大規模酪農施設を整備します。本施設で生産される堆肥・液肥を町内の農地に還元するといった「耕畜連携」を実現し、除染により地力が低下した農地の回復を目指します。	71億2,371万円 基金繰入（国庫分）： 9億4,619万8千円 基金繰入（地方交付税分）： 17億2,085万5千円 県支出金：44億5,291万4千円 一般財源：374万3千円
産学官連携施設整備事業 	町内で活動する企業の事業活動や大学等の学術活動が連携することで新たな産業創出を目指すため、貸事務所機能を有する産学官連携施設を浪江小学校跡地に整備しています。 【主な施設概要】 レンタルオフィス24部屋、多目的工房、会議室、小会議室、オープン事務スペース、フリーワークスペース	25億7,206万8千円 国庫支出金：19億2,935万1千円 一般財源： 6億4,271万7千円（全額復興特交措置）


2 主要事業等

②子育て環境・学校教育・生涯学習環境の充実


事業名	内容	事業費
認定こども園増築事業 	園児の増加にともない、定員を90名から150名へ増やすため、園舎および園庭を増築します。	6億4,910万円 国庫支出金：3億9,562万3千円 地方債：1億3,340万円 一般財源： 1億2,007万7千円（一部復興特交措置）
学習支援事業 	こどもクラブにおいて、放課後の子どもたちの居場所づくりや学習支援を実施し、学力向上と地域のつながりを形成します。	1,441万6千円 国庫支出金：569万6千円 一般財源：872万
生涯学習事業 	地域コーディネーターを配置し、自然体験を通じた子ども交流事業やハイキング、料理教室等、町民等がふれあう機会を創出するため各種教室実施します。	606万3千円 国庫支出金：144万9千円 一般財源：461万4千円

2 主要事業等

③帰還困難区域の再生

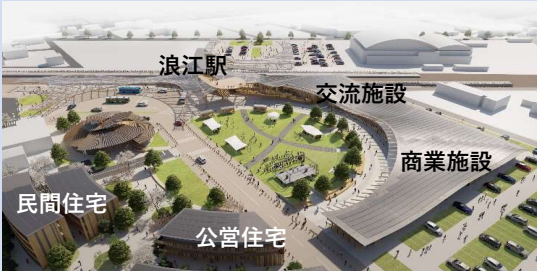
事業名	内容	事業費
道路維持管理事業 	特定復興再生拠点区域等の道路損傷個所について、調査測量、修繕工事を実施します。	5億7,244万7千円 国庫支出金：5億7,244万7千円

④防災・安全の強化

事業名	内容	事業費
町内防犯体制強化事業 	町内犯罪の未然防止を図るため、防犯カメラ（77台）による監視、警備会社および町民で組織する見守り隊によるパトロールを実施します。	3億9,416万8千円 国庫支出金：3億9,416万8千円

2 主要事業等

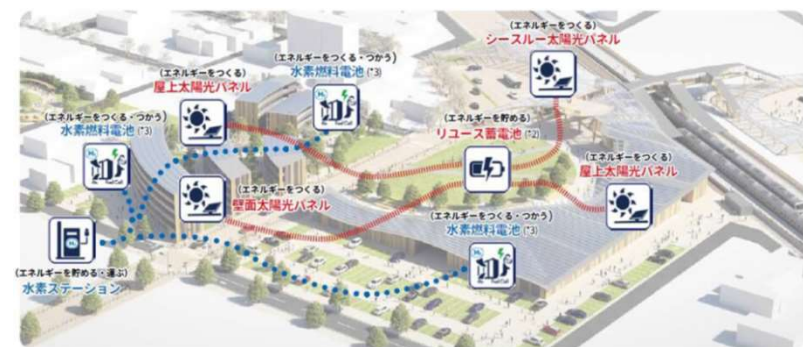
⑤浪江駅周辺を核とした中心市街地整備

事業名	内容	事業費
浪江駅周辺整備事業 	浪江駅周辺に商業施設、公営住宅、交流施設、地域活性化施設などの整備を行うとともに浪江駅東西自由通路・橋上駅舎の整備を進めます。 また、上記と連動し再生可能エネルギーや水素を中心としたエネルギー利用と、エネルギーマネジメントによる効率的なエネルギー消費を実現することにより、ゼロカーボンシティの実現を図ります。	51億1,620万3千円 基金繰入（国庫分）： 37億9,649万9千円 基金繰入（地方交付税分）： 12億1,670万3千円 基金繰入（その他）：2,550万円 一般財源：7,750万1千円

施設	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)	R9年度 (2027)	R10年度 (2028)	R11年度 (2029)	R12年度 (2030)
基盤整備	工事						工事(駅前広場等)
東西自由 通路・駅舎	基本設計	実施設計等	工事				残工事
交流施設	実施設計等	工事				R10.4～オープン予定	R12.3～ 供用開始予定
商業施設	実施設計等	工事				R10.4～オープン予定	
公営住宅	実施設計等	工事				R10.1～入居開始予定	
地域活性化 施設	基本設計	実施設計等	工事				R10.4～オープン予定

※民間住宅は、住宅事業者に立地意向を調査中。


※整備スケジュールは想定であり、今後変更となる可能性があります。



駅周辺整備事業エリア・
エネルギー・マネジメント事業

2 主要事業等

⑥医療・介護・福祉の充実と健康づくりの推進

事業名	内容	事業費
国保直営診療施設 運営事業	町内外での医療確保と健康維持のため、仮設津島診療所（二本松）、浪江診療所（町内）を運営しています。	3億5,384万6千円 診療収入：8,351万6千円 使用料等：174万8千円 県支出金：1億7,599万円 繰入金：9,245万7千円 その他：13万5千円
遠隔診療実施体制 補助事業	町内の小児医療の充実を図るため、町内に在住・通園・通学する子どもとその家族を対象にアプリを活用したオンライン診療を実施します。	240万円 一般財源：148万円 その他：92万円
歩行力改善教室事業 	生活習慣病の予防や改善をするために、歩き方の改善や歩くことの意識付けを行う教室を町内外の各地で実施します。	157万円 一般財源：157万円

2 主要事業等

⑦帰還支援および移住・定住の推進

事業名	内容	事業費	
交流・関係人口 拡大推進拠点施設 整備事業	いこいの村なみえの宿泊棟本館2階から4階の 客室17室の改修を行い、町民の保養の場の創 出と交流・関係人口の拡大を図ります。	5億6, 503万7千円 県支出金：1億8, 702万7千円 基金繰入（その他）： 520万円 地方債：2億5, 750万円 一般財源：256万3千円 その他：1億1, 274万7千円	
帰還促進強化補助金	町内への帰還促進を目的として、新築、修繕 費などの住宅再建を行い、帰還した世帯に対 して補助金を交付します。	2億2, 350万円 県支出金：8, 000万円 基金繰入（その他）： 8, 200万円 一般財源： 6, 150万円（一部復興特交措置）	
	令和5年3月31日以降に帰還した場合		
	新築	対象経費の10/10	上限375万円〔町75万円・県300万円〕
	修繕等	対象経費の 1/2	上限 75万円〔町25万円・県50万円〕
	令和5年3月30日以前に帰還した場合		
	新築	対象経費の10/10	上限 75万円〔町75万円〕
	修繕等	対象経費の 1/2	上限 25万円〔町25万円〕

3 健康・福祉・介護

(1) 健康づくり

①総合健康診査（特定健康診査及びがん検診）

県内外で実施しています。福島県内では、8地区で集団健診及び医療機関での施設検診を実施し、県外では、公益財団法人結核予防会に委託し、指定医療機関での施設検診を実施しています。

②健康づくり

ダンベル体操を中心とした「ロコモ・はなまる教室」を、県内9会場にて月2回程度実施しています。また、歩行力改善事業、じぶんで血糖チェック事業、いきいき健康教室等を町内外各地で実施し、健康づくりの知識の普及に努めています。

令和7年度は、日常生活でできる運動機能維持の体操を学ぶ健康教室や総合健診時（浪江地区）に体組成計等を用いて効果測定を行う「フレイル測定会」を実施しています。

③放射能簡易検査

個人の外部被ばく線量測定や自家消費野菜等の放射能簡易検査を役場本庁舎と津島支所で実施しています。



ノルディックウォーキング



歩行力改善事業



いきいき健康教室

3 健康・福祉・介護

(2) 福祉・生活支援

①障がいをお持ちの方への福祉・生活支援

担当地区（対象年齢）	委託相談支援事業所	連絡先
双葉郡（18歳以上）	社会福祉法人友愛会 サポートセンターゆうあい （広野町大字上浅見川字大谷内106）	0240-23-6233
双葉郡（18歳未満） いわき市北部（全年齢）	社会福祉法人福島県福祉事業協会 相談支援双葉事業所 （いわき市四倉町東一丁目68-24）	0246-38-9773
いわき市南部（全年齢）	社会福祉法人ゴールデンハープ オムソルグ （いわき市鹿島町御代字柿境10-1）	0246-85-5947
福島市・安達圏域（全年齢）	一般社団法人あお 心青笑（こせいえ） （福島市大町5番15号 斎藤ビル1F）	024-572-3389
郡山市（全年齢）	社会福祉法人 郡山市社会福祉協議会 （郡山市総合福祉センター1階）	024-932-5311

②基幹相談支援センターの設置

障がいをお持ちの支援が必要な方と、事業所や相談員等の支援者をつなぐ役割を担っており、町と委託相談支援事業所への専門的支援を行っています。

事業所名	住所	連絡先
基幹相談支援センターふたば （一般社団法人8色（はちいろ））	双葉郡檜葉町北田字鐘突堂5番地の5 （檜葉町保健福祉会館2F）	0240-23-7222

3 健康・福祉・介護

(3) 介護予防・高齢者等生活支援

①介護予防の取り組み

- ・ 介護予防運動教室やカラオケ体操を実施しています。
- ・ サポートセンター（根柄山、石倉、社協）を設置し高齢者等の生きがいくくりや交流サロンを行い、孤立する高齢者の閉じこもり防止に努めています。
- ・ 一人暮らしや高齢者のみ世帯向けに緊急通報システム機器の無償貸与を行っています。（貸出対象地域：福島県内）

②介護・福祉・生活支援の関係機関

【浪江町社会福祉協議会】

- | | |
|-------------------|------------------|
| ・ 生活福祉資金、援助資金貸付事業 | ・ 食糧支援（フードバンク）事業 |
| ・ 福祉用具貸与事業 | ・ 福祉車両貸出事業 |
| ・ ボランティア推進事業 | ・ 日常生活自立支援事業 |
| ・ 共同募金配分金事業 | ・ 被災者支援事業 |

住 所 浪江町大字権現堂字矢沢町6番地1
（ふれあい福祉センター内）

連絡先 0240-34-4685



浪江町社会福祉協議会

3 健康・福祉・介護

③町内在住者が利用している主な介護サービス事業所

令和7年8月末現在

種類	事業所名称	備考
支援 居宅 介護	浪江町地域包括支援センター	要支援認定者のみ
	浪江町社会福祉協議会指定居宅介護支援事業所	
	ケアプランなみえ	
	近隣市町 居宅介護支援事業所（4か所）	
介護 通所	浪江町社会福祉協議会ふれあいデイサービス	
	南相馬市内 デイサービスセンター（3か所）	
介護 訪問	浪江町社会福祉協議会訪問介護事業所	
	南相馬市内 介護事業所（1か所）	
入所 施設 よく 利用 され	特別養護老人ホーム オンフル双葉（いわき市）	ショートステイ利用可
	近隣町村 特別養護老人ホーム（10ホーム）	ショートステイ利用可
	近隣町村 介護老人保健施設（6施設）	
	南相馬市 医療院（1施設）	

9月3日、オンフル双葉を運営する社会福祉法人博文会と浪江町社会福祉協議会、浪江町との3者により町内の医療・介護・福祉で連携協力することを目的に包括連携協定を締結しました。今後3者は連携して町内の介護サービス充実に向けた取り組みを推進していきます。

4 生活支援

(1) 避難生活支援

①交流館の運営

町民同士の情報交換や憩いの場、交流の場として交流館の管理運営を行っています。

交流館名	住所
あつまっぺ交流館	福島市渡利字舟場2-1（福島出張所内）
コスモスふれあいセンター	郡山市富田西5丁目2
なみえ交流館	いわき市平南白土1丁目5-12（いわき出張所内）

②復興支援員の配置

避難している高齢者等を対象に電話や訪問による生活状況の確認や相談対応、サロンなどを開催しています。

事務所名	住所	連絡先
福島事務所	福島市松川町沼袋字北原82-5（浪江町社会福祉協議会福島事務所内）	024-572-5575
東京事務所	東京都台東区上野3丁目16-2 天翔上野末広町ビル6階607	080-6294-5961

③生活支援バス

避難先での移動手段の支援として生活支援バスを運行しています。料金は無料です。

- ・南相馬市⇄浪江町内コース（毎週 月・水・金曜日）
- ・二本松市・本宮市内コース（毎週 月・水・金曜日）
- ・二本松市⇄浪江町内コース（毎月 第2・第4木曜）



詳しい運行情報はこちら

4 生活支援

(2) コンビニ交付サービス事業

令和7年3月1日より、マイナンバーカードを利用して、全国のコンビニエンスストア等で各種証明書が取得できるコンビニ交付サービスを開始しました。また、役場本庁舎正面玄関入口脇にも自動交付機を設置して、コンビニエンスストアと同じサービスを開始しました。

役場や出張所に来ることなく、仕事先や外出先、休日、早朝・夜間でも証明書が取得できます。ぜひご利用ください。

証明書の種類		取得できる人	ご注意ください	手数料
住民票の写し	本人のみ 世帯の一部 世帯全員分	本人及び 同一世帯の人	<ul style="list-style-type: none">・ 転出者や死亡者など、除票になっている人の分は取得できません。・ マイナンバー・住民票コードは記載できません。	1通 200円
印鑑登録証明書		本人のみ	<ul style="list-style-type: none">・ 印鑑登録をしている方のみ取得可能です。・ 印鑑登録証の持参は不要です。	
所得・課税（非課税）証明書		本人のみ	取得できるのは最新の証明書のみです。	

4 生活支援

(3) 戸籍の広域交付制度

令和6年3月1日より、戸籍の広域交付制度が開始されています。
本籍地がない市区町村でも戸籍証明書等が請求できます。

交付できる場所	請求できる人	必要なもの	請求できる戸籍の種類
全国の市区町村	<ul style="list-style-type: none">■ 本人■ 配偶者■ 直系尊属（父母、祖父母など）■ 直系卑属（子、孫など）	本人確認書類 ※顔写真がある身分証明書 （住民票住所の記載があるの）	<ul style="list-style-type: none">■ 戸籍謄本■ 除籍謄本■ 改製原戸籍謄本■ 独身証明書 ※電算化されているものに限る。

(4) 住民票の広域交付制度

全国の市区町村で住民票の写しを取得できるサービスです。
本人または同一世帯員であれば、浪江町以外の市区町村でも請求できます。
※住民基本台帳ネットワークシステム未設続の市区町村は除きます。

交付できる場所	請求できる人	必要なもの	発行できないもの	記載されない項目
全国の市区町村	<ul style="list-style-type: none">■ 本人■ 同一世帯の人	本人確認書類 ※顔写真がある身分証明書 （住民票住所の記載があるもの）	<ul style="list-style-type: none">■ 除票 ※死亡、転出などで除かれたもの	<ul style="list-style-type: none">■ 本籍・筆頭者■ 前住所■ 死亡者、転出者

5 各種減免制度等

(1) 令和7年度の国民健康保険、後期高齢者医療保険、介護保険料等の減免

区域	減免要件	備考
国民健康保険税及び医療費の一部負担金		
避難指示解除区域	世帯主が被災者で被保険者の令和6年の合計基準所得額600万円以下の世帯	減免対象区域及び減免割合は次ページのとおり
帰還困難区域 (避難指示未解除区域)	全額減免	
後期高齢者医療保険料及び医療費の一部負担金		
避難指示解除区域	被保険者が被災者で世帯に属する被保険者の令和6年の合計基準所得額600万円以下の方	減免対象区域及び減免割合は次ページのとおり
帰還困難区域 (避難指示未解除区域)	全額減免	
介護保険料及び介護サービス利用者負担金		
避難指示解除区域	被保険者が被災者で令和6年の合計所得額633万円未満の方	減免対象区域及び減免割合は次ページのとおり
帰還困難区域 (避難指示未解除区域)	全額減免	

5 各種減免制度等

(2) 東日本大震災による特例減免措置の見直し

東日本大震災による特例減免措置は、避難指示解除から10年程度とされており、国では令和5年度から順次、見直しを実施しています。

		R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
平成29年に 解除された地域	保険税 (料)	○	1/2	終了	終了						
	窓口	○	○	○							
令和5年に 解除された地域	保険税 (料)	○	○	○	○	○	○	○	1/2	終了	終了
	窓口	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※○：全額免除 1/2：半額免除

※上記以外の地域については見直し時期未定

不明な点については国のコールセンターへお問い合わせください。

連絡先 0120-911-488

時 間 9:00～18:00（土日祝日、年末年始を除く）

5 各種減免制度等

(3) 固定資産税（土地・家屋）の取扱い

区域	令和7年度	令和8年度 (予定)
避難指示解除区域 (H29. 3. 31解除)	通常課税 (令和4年度より)	通常課税
特定復興再生拠点区域 (R5. 3. 31解除)	1/4	1/2
帰還困難区域 (特定帰還居住区域を含む)	課税免除	課税免除

被災住宅用地の特例の延長（土地）

東日本大震災により滅失した住宅の敷地の軽減特例について、令和8年度まで延長しています。

※税額計算においては、解体等で更地となっても住宅があるものとみなして取り扱います。

ア：小規模住宅用地（住宅等の敷地で200㎡以下の部分）→ 6分の1に軽減

イ：一般住宅用地（住宅等の敷地で200㎡を超える部分）→ 3分の1に軽減

※住宅の床面積の10倍にあたる面積までが対象となります。

6 住環境整備

(1) 公営住宅の提供

公営住宅、災害公営住宅（被災者のみ入居可）、再生賃貸住宅、分譲地等を整備しています。

また、駅周辺整備事業の一つとして、権現堂地区に公営住宅の建設を進めています。

名称	種類	供用開始	入居数/整備数
幾世橋住宅団地	災害公営住宅	H29. 7	82戸 / 85戸
	分譲地	H29. 6	残2区画
御殿南住宅	公営住宅	H30. 3	9戸 / 10戸
幾世橋集合住宅 (旧雇用促進住宅)	再生賃貸住宅	H29. 9	78戸 / 80戸
請戸住宅団地	災害公営住宅	R2. 10	26戸 / 26戸
	分譲地	R2. 8	残14区画
津島住宅団地	再生賃貸住宅	R5. 4	10戸 / 10戸
【予定】権現堂地区	再生賃貸住宅	R10	76戸整備



幾世橋住宅団地



幾世橋集合住宅



【予定】権現堂地区

(令和7年8月末現在)

7 子育て・教育支援

(1) 子育て支援

①ふれあいげんきパーク

大型アスレチック遊具やおままごとキッチン等で遊べるキッズスペース、小学生から大人まで楽しめるボルダリングスペースを設置しています。また、地域子育て支援拠点として、定期的に子育て相談や親子体操等のイベントを開催しています。

	平日	土・日・祝日
キッズスペース	10:00～17:00	10:00～17:00
ボルダリングスペース	13:30～20:00	10:00～17:00

- 休館日 毎週水曜日及び年末年始
※水曜日が祝日の場合は開館し、翌平日が休館
- 最終受付 各終了時間の30分前
- 利用料 無料
※ボルダリング用レンタルシューズ300円/1足
※マイボルダリングシューズ利用可能
- 住所 浪江町大字権現堂字矢沢町6番地1
- 連絡先 0240-23-5233

スタッフが常駐しております。お気軽にお声かけください。



キッズスペース
(おままごとキッチン)



キッズスペース
(ふわふわドーム)



ボルダリングスペース

7 子育て・教育支援

②浪江にじいろこども園

子どもたちが安心して遊び、学べる教育環境の施設として幼保連携型認定こども園を運営しています。

開園日及び 開園時間	月曜日～金曜日　7:30～18:00 (土曜日は、利用条件があります)							
在園児数 (令和7年8月末現在)	年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
	人数	6	7	7	17	14	14	65
保育料	浪江町に住民登録があり町内に居住しているお子さんは無料							
給食費	無料							
その他	<ul style="list-style-type: none">・一時預かり事業も実施しています。・子育て支援事業として、ふれあいげんきパーク等で子育てサロン「ぽかぽかテラス」を定期的を開催し、お子さんと楽しむ手遊びやふれあい遊び、お母さん同士の交流などを行っています。							



浪江にじいろこども園



遊びの様子

7 子育て・教育支援

(2) 学校教育

①「なみえ創成小学校」「なみえ創成中学校」での取り組み

地域の未来を切り拓く学校として、開校当初より人工芝のグラウンドやGIGAスクール構想の実現に向けたICT環境の整備など教育環境の充実に努めています。

<主な取組>

- ・ 関係機関と連携した防災教育授業の推進
- ・ 思考の深まりやコミュニケーション能力育成のため、哲学対話の手法を用いた授業
- ・ ふるさと創造学の学びを通した、地域の方々との連携
- ・ こども議会の実施など



なみえ創成小・中学校

なみえ創成小学校	61人
なみえ創成中学校	26人

(令和7年8月末時点)

②放課後こどもクラブの運営

小・中学校に隣接した場所に放課後こどもクラブを設置運営しています。放課後の子どもたちの居場所づくりや学習支援を実施し、学力向上と地域とのつながりを形成します。



ひな祭り会の様子



誕生会の様子

8 文化・スポーツ振興

(1) 生涯学習・伝統文化

①生涯学習

ふれあいセンターなみえは、町民の健康増進、地域活性化などで幅広い世代が利用しています。敷地内のふれあい交流センター内には図書館も設置しています。



ふれあいセンターなみえ

②震災遺構 浪江町立請戸小学校

津波や原子力災害の教訓を後世に伝える施設として、県内外から多くの方々が見学に訪れています。（R6年度利用者数：約7万2千人）



震災遺構の請戸小学校

③復興海浜緑地（多目的広場・パークゴルフ場）

請戸地内に防災機能を備えた復興海浜緑地（多目的広場・パークゴルフ場）の整備を進めており、令和7年度末の完成を目指しています。

【施設概要】管理棟（休憩室、会議室）、倉庫、屋根付施設

パークゴルフ場4コース36ホール



復興海浜緑地

④伝統文化の継承

伝統芸能活動を継続・再開した団体へ補助金を交付するとともに、休止団体の用具等を保管しています。

⑤高瀬球場

復旧工事が完了し、令和6年8月から使用を開始しています。

9 防犯・防災・災害対策

(1) 防犯・防災・災害対策

①町内全域の巡回警備・防犯カメラ

町内全域（帰還困難区域を含む）に防犯カメラ（77台）を設置するとともに、双葉警察署浪江分庁舎、浪江町防犯見守り隊、浪江町消防団、警備会社などが連携し、町内を24時間パトロールしています。

②防災力向上・災害対応

各地区に防災コミュニティセンター（浪江・幾世橋・大堀・苅野）を設置しています。浪江インターチェンジ付近に浪江町防災交流センター（会議室・備蓄倉庫等）、津島支所東側には防災備蓄倉庫を設置しました。

また、住民及び事業者等に対して防災行政無線の戸別受信機の無償貸与を行っています。



防災行政無線戸別受信機
（無償貸与）

③自主防災組織

防災力向上のために、樋渡牛渡地区、幾世橋地区、川添地区において、住民主体による自主防災組織づくりに向けた取り組みを進めています。

令和7年3月には、室原の防災交流センターで防災まちづくりのワークショップを開催し、70名の参加者が取り組み現況を共有しました。引き続き、地域防災サポーターなど関係機関と協力し、他の地区への展開も図って行きます。



浪江町防災交流センター

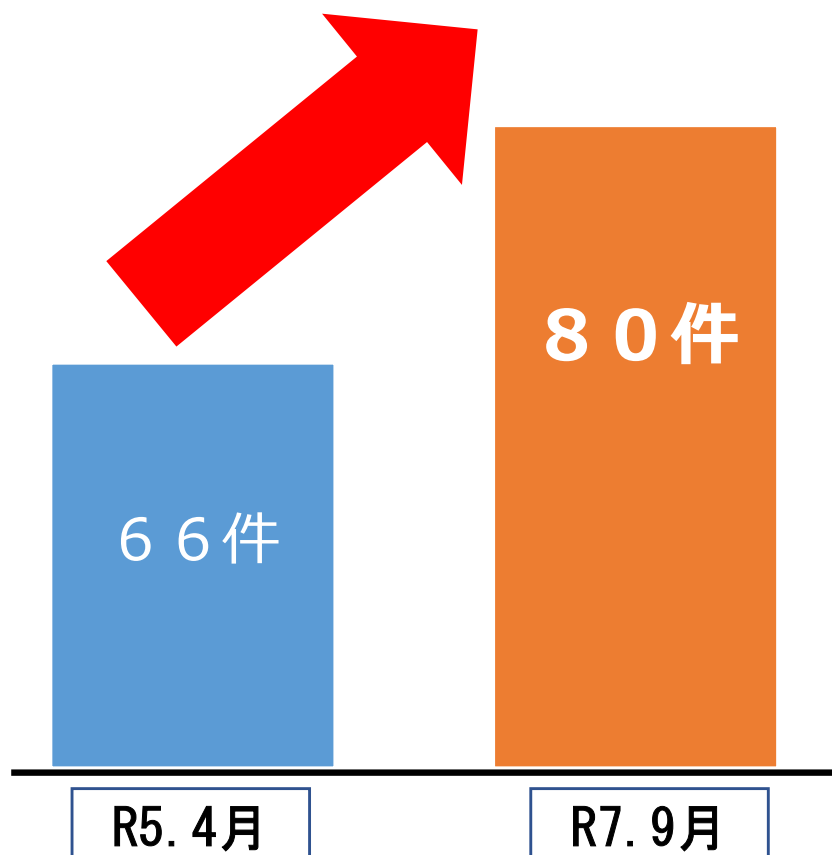
10 商工業

(1) 町内商業機能回復

町内では飲食店を中心に事業再開や新規操業が進んでいます。

令和7年9月現在で、スーパー1店舗、コンビニ4店舗、飲食店43店舗、その他小売32店舗等が営業しています。

また現在、浪江駅周辺整備事業において、新たなスーパーマーケットの整備を進めています。



牛丼チェーン店



フランス料理店



ステーキ店



駅前飲食店ビルも多数出店

11 農林水産業

(1) 営農再開

①営農再開状況

町内の営農再開率は30%を超えたところです。農業の後継者不足や担い手確保などの課題解決を図り、各種補助事業を活用し、営農再開面積拡大に取り組んでいます。

また、各種事業を活用して、営農に必要な農業機械の導入を支援したほか、カンントリーエレベーターや育苗施設等の農業用施設を整備して営農再開を促進しました。現在は約100の経営体が営農を再開しています（震災前は1,037経営体）。

②津島地区の農業再生

民間事業者によるりんごの実証栽培がスタートし、農地2カ所（0.2ha）に苗木140本を定植しました。今後、30haへの段階的な栽培拡大と令和10年の販売開始を目指しています。

また、2年目の水稻の作付実証にも取り組んでおり、今後の出荷再開を目指しています。

品 目	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (見込み)
水 稲	290ha	302ha	471 ha
花 き	7ha	7ha	7 ha
畑 作 物 そ の 他	248ha	357ha	584 ha
合 計	545ha	666ha	1,062 ha



津島地区の試験栽培



りんごの実証事業

11 農林水産業

(2) 農業用インフラの復旧

①用排水路

被災した用排水路を調査設計し、復旧工事を行っています。国による大柿ダム幹線水路の復旧工事や通水試験が概ね終了したため、今後は営農再開意向に応じ、順次支線水路等の復旧を進めています。

②ため池

池の底に溜まった放射性物質を除去するための調査や工事を行っています。令和4年度までに対象となる23池の対策工事を完了しました。令和7年度は6池の再対策工事を実施しています。



ため池の底質除去工事
(バックホウ掘削)

(3) 林業の再生

①ふくしま森林再生事業

町内（帰還困難区域を除く）の、管理が行き届いていない民有林を間伐などの方法により整備しています。

②帰還困難区域の林業再生

令和7年度中に林野庁から帰還困難区域での森林施業のガイドラインが出される予定となっており、今後はガイドラインの策定状況等も踏まえながら、国有林の森林整備の動向等も注視しつつ、帰還困難区域の民有林の森林整備にも着手していきます。

11 農林水産業

(4) 水産業の再生

①請戸漁港の再開

荷捌き施設や漁具倉庫などを整備し、令和2年4月に「競り」が再開しました。請戸漁港近海のモニタリング調査等を継続しながら、安全で質の高い「請戸もの」の出荷を進めています。



請戸地区の荷捌き施設

②請戸水産加工団地

団地には2社が立地しています。請戸漁港で水揚げされたシラスやシラウオなどの魚介類を加工販売するほか、活魚や鮮魚を提供することにより「請戸もの」ブランドを全国へ発信しています。



請戸水産加工団地 柴栄水産

③さけふ化・放流事業

令和6年度にさけふ化施設が完成し、令和7年度から本格的なさけふ化事業を開始する予定です。令和7年度～8年度に、さけやな場の再整備を進め、さけ放流・採捕事業の本格再開を進めています。



さけふ化施設

④内水面漁業

室原川・高瀬川漁協がアユなどの川魚のモニタリングを行い、その結果を広報紙等で周知しています。引き続き、遊漁再開に向けたモニタリング調査を継続していきます。

12 浪江国際研究学園都市構想

(1) 浪江国際研究学園都市構想の取組

F-REIの立地を受け、地域とF-REIをはじめとする多様な主体が支え合い、持続可能な新たなまちづくりを進めていくための構想を取りまとめました。(令和6年3月策定)

目標1 誰もが過ごしやすいまちづくり

まちづくり

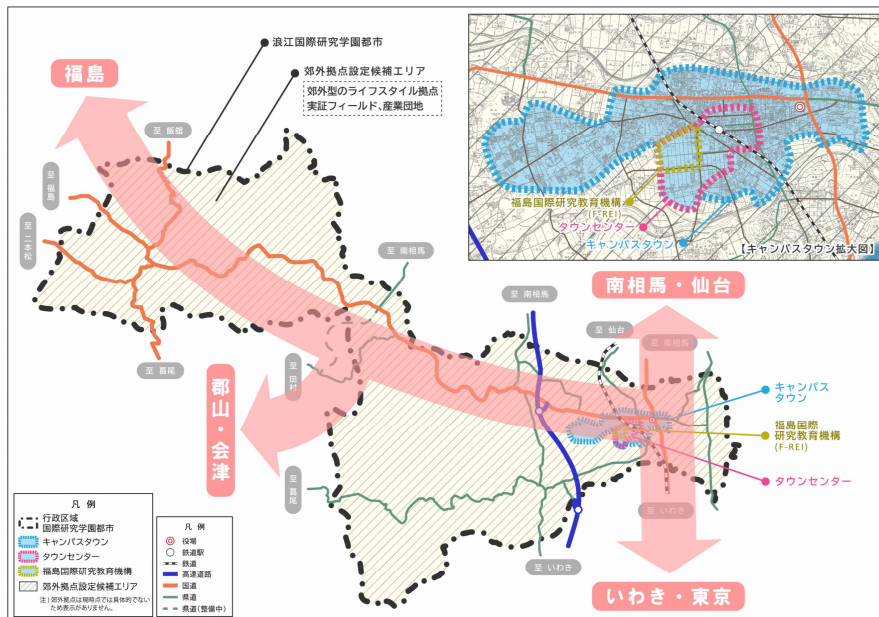
目標2 浜通り・福島県の広域連携による産業振興・雇用創出

産業づくり

目標3 国際的な研究環境で活躍し、復興をリードする人材の育成・確保

つながり
づくり

目標4 伝統文化の継承と新たな浪江文化の創出



Point

- おおむね用途地域が指定されている範囲をキャンパスタウン、F-REI敷地をはじめとする浪江駅周辺をタウンセンターと位置づけ、地域と多様な主体が共生する都市整備を進めていきます。
- 浪江町と「浜通り・福島県」、「全国・世界」をつなぎ、地域全体の産業創出、人材育成、人口増加に結び付け、持続可能なまちづくりの実現を目指します。
- F-REI研究を社会に役立て、新しい産業や仕事をつくります。

13 駅周辺整備事業

(1) 浪江駅西側地区の整備の取組

まちづくりビジョン <町のこれまでと未来が共存し、地域と世界がつながるまち>

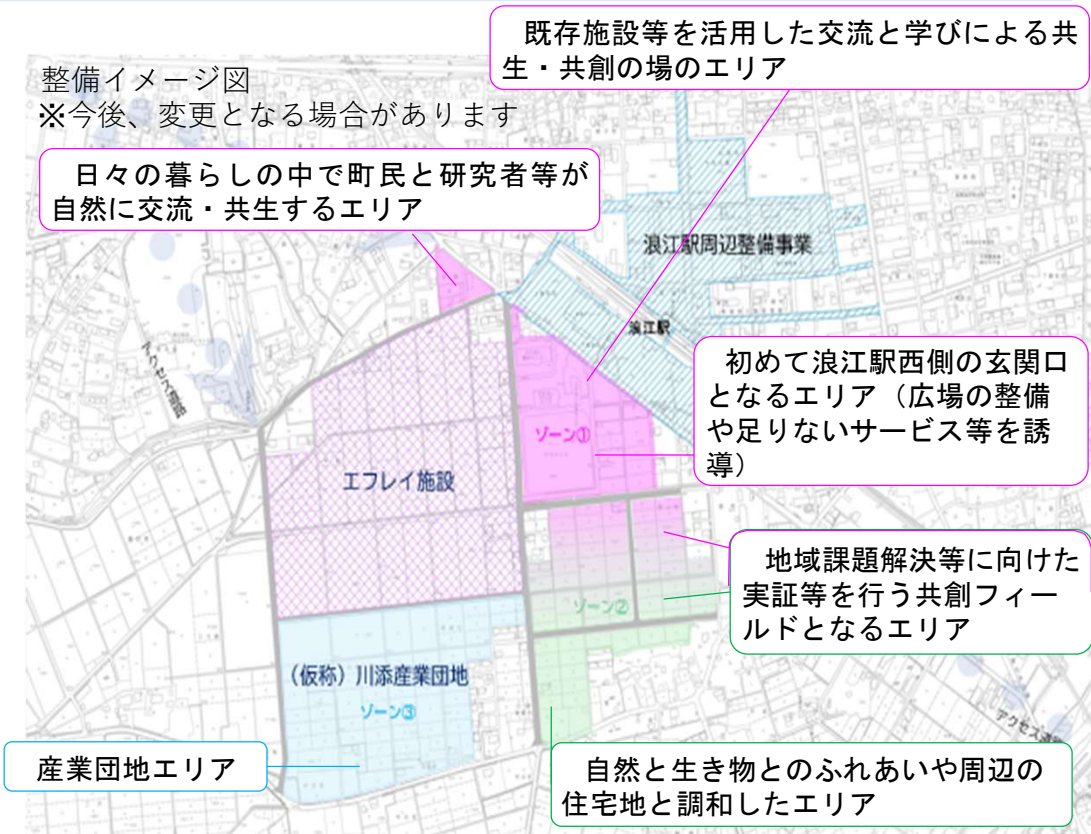
Point

- 浪江駅周辺、F-REIとともに整備し、タウンセンター全体として価値を最大化します
- 浪江駅東西の人の流れを促し、町に不足する機能を補います
- 町が基盤を整え、民間が施設を整備・運営します
- 駅西側地区の成長に応じて柔軟にまちを更新・発展させます

浪江駅西側地区共創会議

住民や町内外の事業者や大学などが関わり、それぞれがこの地区でできることを話し合う参加型のオープンな会議です。

令和9年度の事業者公募に向けて、町民や事業者の対話を行い、浪江駅西側地区のまちづくりの実現性を高めていきます。



参考資料1 各種支援制度

名称	補助内容	補助額	担当課
復興コミュニティ事業補助金	町民相互のコミュニティの維持・形成、復興を目的としたまちづくりを推進する事業を行う団体に対し補助金を交付します。	・町内で行う事業 上限70万円 ・町外で行う事業 上限30万円	介護福祉課 避難生活支援係
住宅再建支援補助金	町内の住宅で、新築、リフォーム及び修繕などの再建工事を行う所有者へ工事に要する経費を補助します。 ※避難指示解除区域・特定復興再生拠点区域、特定帰還居住区域に限る	上限25万円	住宅水道課 住宅係
住宅清掃費補助金	長期間にわたり管理ができず、汚損等の被害を受けた町内の住宅の清掃に要する経費を補助します。 ※避難指示解除区域・特定復興再生拠点区域、特定帰還居住区域に限る	上限15万円	
危険ブロック塀等撤去支援事業補助金 【事前申請】	道路に面する危険ブロック塀等の倒壊被害を未然に防止し、生活の安全と安心を確保するため、危険ブロック塀等の撤去に要する経費を補助します。 ※避難道路に面したブロック塀等に限る	上限10万円	
住宅等鳥獣被害対策補助金	イノシシ等の有害鳥獣から、町内にある住宅等の被害防止を図るために行った鳥獣被害対策に要する経費を補助します。	上限10万円	
既存住宅状況調査技術者派遣事業	町内の既存戸建住宅について、専門家による状況調査（劣化状況、欠陥の有無、改修すべき箇所の確認）を実施しています。	調査費は町負担	

参考資料1 各種支援制度

名称	補助内容		補助額	担当課
個人住宅用再生可能エネルギー設備等導入補助金【FIT可】	町内で、太陽光発電設備、電力を効率的に利用するためのシステム等の設置に要する経費を補助します。	太陽光発電システム設置補助金	上限16万円 (町16万)	住宅水道課 住宅係
		蓄電池システム設置補助金	上限30万円 (町30万)	
		HEMSエネルギー管理システム設置補助金	上限30万円	
		電気自動車受給電設備設置補助金	上限30万円	
自家消費型住宅用太陽光発電設備モデル事業補助金【FIT不可】 ※上記補助とは重複不可。	町内のエネルギーの地産地消を推進するために、自家消費型太陽光発電設備を設置する経費を補助します。	太陽光発電システム設置補助金	上限44万円 (町16万・国28万)	
		蓄電池システム設置補助金	上限77万円 (町30万・国47万)	
ふるさと住宅移転補助金	町外の避難先住宅等に入居する世帯が、町内の自宅等に移転した場合の費用を補助します。		複数人世帯	介護福祉課 避難生活支援係
		県内から移転	10万円	
		県外から移転	15万円	
			単身世帯	
			8万円	
			10万円	

参考資料1 各種支援制度

名称	補助内容				補助額	担当課
合併処理浄化槽設置整備事業補助金	町内住宅の合併処理浄化槽整備に要する経費を補助します。				住宅水道課 料金会計係	
	人槽	設置費 限度額	撤去費 限度額	宅内配管工事費 限度額		
	5人槽	332,000円	45,000円	300,000円		
	7人槽	414,000円	45,000円	300,000円		
	10人槽	548,000円	45,000円	300,000円		
空き家空き地バンク事業	空き家空き地バンク事業を通じて、町内に居住希望の人に、空き家・空き地の情報を提供しています。 ・ 空き家登録 3件（これまで売買成立22件、賃貸成立8件） ・ 空き地登録166件（これまで売買成立29件、賃貸成立4件） （令和7年8月末時点）				住宅水道課 住宅係	
情報格差解消事業補助金	町内の住宅に新たにインターネット光回線を整備する工事または衛星放送受信環境整備工事に要する経費を補助します。			上限2万5千円	企画財政課 情報統計係	
宅地用除草剤 （非農耕用）配布	宅地の適正管理を支援するため、宅地所有者へ除草剤（非農耕用）の配布を行っています。			液剤4ℓ×2個 粒剤2kg×1箱	住民課 除染環境係	
子ども医療費助成事業	18歳までの子どもの医療費を助成します。			医療費の一部負担金	教育総務課 子育て支援係	

参考資料1 各種支援制度

名称	補助内容	補助額	担当課
出産祝い金支給事業	町に住民登録がある子の出産祝い金を支給します。	第1子・第2子5万円 第3子以降20万円	教育総務課 子育て支援係
浪江町子育て支援家賃補助制度	18歳までの子を養育し、町内の賃貸住宅に同居している世帯へ家賃を補助します。	家賃の一部（住宅手当等を差し引いた額の1/2以内） （上限月額3万円）	
なみえ創成小・中学校制服等支給制度	制服・運動着等の購入費を補助します。	制服：転入学時1回 運動着等：年度内1回	教育総務課 学校教育係
小学校・中学校遠距離通学費助成（町外含む）	浪江町公立小、中学校に在学する児童・生徒の保護者に定期乗車券の購入費等を補助します。	購入金額の1/2以内または月1,000円以内 （年間10か月を限度）	
なみえ創成小・中学校就学援助事業	修学旅行費や学校給食費などを支給します。	実費相当分（年3回）	
町内再開事業者等光熱水費等補助金	町内で事業を開始した事業者に対し、開業から12か月間分の電気料金、水道料金及び下水道使用料を補助します。 ※特定復興再生拠点に立地する事業者は補助率を10分の10とし、補助上限額を各業種で2倍の金額に引き上げます。	対象経費の2分の1 ・製造業 上限120万円/年 ・スーパー 上限90万円/年 ・その他の業種 上限60万円/年	産業振興課 商工労働係
町内飲食店食料品調達支援事業補助金	町内飲食店に対し、町内事業者から購入する食料品の経費を補助します。	対象経費の10分の3 （上限10万円/月）	

参考資料1 各種支援制度

名称	補助内容	補助額		担当課
地場産品利用促進事業補助金	「大堀相馬焼」を積極的に活用しPRするため、町内の店舗や事務所等で使用する食器などの購入経費を補助します。	対象経費の3分の2 (上限10万円/年)		産業振興課 商工労働係
ブランド・イメージ回復支援事業補助金	農産物、食品加工品、その他特産品等の風評被害払拭に資する事業者に対し、町外での地域物産展、地域振興イベント等に出展するための経費を補助します。	対象経費の2分の1 (上限20万円/年)		
夜間交通手段確保支援事業補助金	町内で夜間の町民移動サービスを提供する事業者に対し、事業活動に係る経費を補助します。	対象経費の10分の10 (上限200万円/年) ※制限のある経費あり		
事業者向け再生可能エネルギー設備等導入補助金	事業者が町内事業所等に自家消費のために設置する太陽光発電設備等の導入を支援します ※個人事業主・販売農家も対象	太陽光発電設備設置	5万円/kW (上限250万円)	産業振興課 新エネルギー推進係
		蓄電池設置	最大5.3万円 (本体価格の1/3以内)/kwh (上限106万円)	
浪江町次世代自動車購入補助金	ガソリン車の脱炭素化を推進するため、電気自動車(EV)や水素燃料電池自動車(FCV)購入にかかる経費を補助します	電気自動車(EV)	7.5万円/台	
		水素燃料電池自動車(FCV)	30万円/台	

参考資料2 町内交通

区分	事業者名	内容	連絡先
鉄道	JR東日本	浪江駅を含む常磐線全線が運転を再開しています。	050-2016-1600
路線バス	新常磐交通株式会社	「浪江町役場」、「JR浪江駅」、「道の駅なみえ」をはじめ、町内の主要な施設等を結ぶ路線バスが運行しています。	0246-46-1646
高速バス	東北アクセス株式会社	「福島駅西口」から「道の駅なみえ」間が運行しています。	0240-23-7677
タクシー	(有)観光タクシー	通常タクシーの他、8人乗りのジャンボタクシーの利用が可能です。ジャンボタクシーは事前の予約が必要です。	0240-35-4125
デマンドタクシー	(有)観光タクシー	9時～17時（日曜日・祝日除く） 事前予約制	0240-35-4125
レンタカー	(有)観光タクシー	8時～17時（月～金） 9時～16時（土・日、祝日）	0240-23-7082
	浪江FCVレンタカー	9時～18時（日曜日・祭日は除く）	090-6385-1159 https://namie-fr.com/
運転代行	運転代行ベル	19時～25時（日曜除く）	080-5131-3332
	丸吉運転代行	20時～24時（日曜除く）	070-2377-2616
その他	なみえ スマートモビリティ	町内で新たなデマンド型の旅客サービスの実証実験を行っています。	https://www.smamobi.jp

参考資料3 医療機関等

(1) 医療機関

医療機関名	住所	診療日時	診療内容	連絡先
浪江町国民健康保険 浪江診療所	浪江町役場 本庁舎敷地内 大字幾世橋 字六反田7-2	9時～12時（受付8時30分～11時30分） 14時～16時（受付13時30～15時30） 整形外科の診療時間は下記のとおり 9時30分～12時（受付8時30分～11時30分） 13時～14時（受付12時45分～14時） ※土日・祝日は休診	内科、外科、 整形外科 （毎週木曜日）、 小児科 （毎月2回）、 訪問診療など	0240-23-6173
豊嶋歯科医院	大字権現堂 字南深町8-2	月～木曜日 9時～12時、14時～18時 （完全予約制、金～日曜日・祝日は休診）	一般歯科、 予防歯科	0240-23-5633
山村デンタル クリニック	大字加倉 字下加倉99-3	月・火・水・金曜日 10時～12時、13時30分～18時30分 土曜日（隔週） 9時～13時 （予約優先、木曜日・日曜日・祝日・手術日は休診）	一般歯科、 矯正歯科、 美容歯科、 歯科口腔外科 他	0240-23-4108
浪江町国民健康保険 仮設津島診療所	復興公営住宅 石倉団地内	9時～12時（受付8時30分～11時30分） 14時～16時（受付13時30分～15時30分） ※土日、祝日は休診	内科、婦人科 （毎週月曜日、 隔週木曜日） 皮膚科 （第3火曜日）	0243-24-1431

参考資料3 医療機関等

(2) 調剤薬局

	住所	診療日時	診療内容	連絡先
なみえ調剤薬局	大字幾世橋 字六反田7-6	月～金曜日 9時～18時 調剤受付は9時～16時	調剤、その他医薬品 、介護用品等販売、 お薬相談	0240-23-7092

(3) オンライン診療

	医療機関名	対象者	診療内容
小児科オンライン診療	こどものクリニック ちょこ 先崎秀明院長	浪江町内に在住又は通 園、通学する子ども及 びその家族	専用アプリをインストールし、テレビ 電話方式により診察。 薬の処方箋は患者が希望する調剤薬局 へFAXにて送信

参考資料4 福島国際研究教育機構（F-REI）

福島国際研究教育機構（Fukushima Institute for Research, Education and Innovation 略称：「F-REI（エフレイ）」）は、福島復興再生特別措置法に基づく特別の法人として国が設立した研究教育機関です。

理事長のリーダーシップの下で、次の4つの機能を発揮するための取組を一体的に推進します。令和7年4月には、起工式が行われ、本部施設棟は令和10年度、研究施設等その他の施設は令和12年度末までの順次供用を目指しています。

研究開発

- 福島での研究開発に優位性がある下記5分野で、被災地や世界の課題解決に資する国内外に誇れる研究開発を推進

産業化

- 産学連携体制の構築
- 実証フィールドの積極的な活用
- 戦略的な知的財産マネジメント

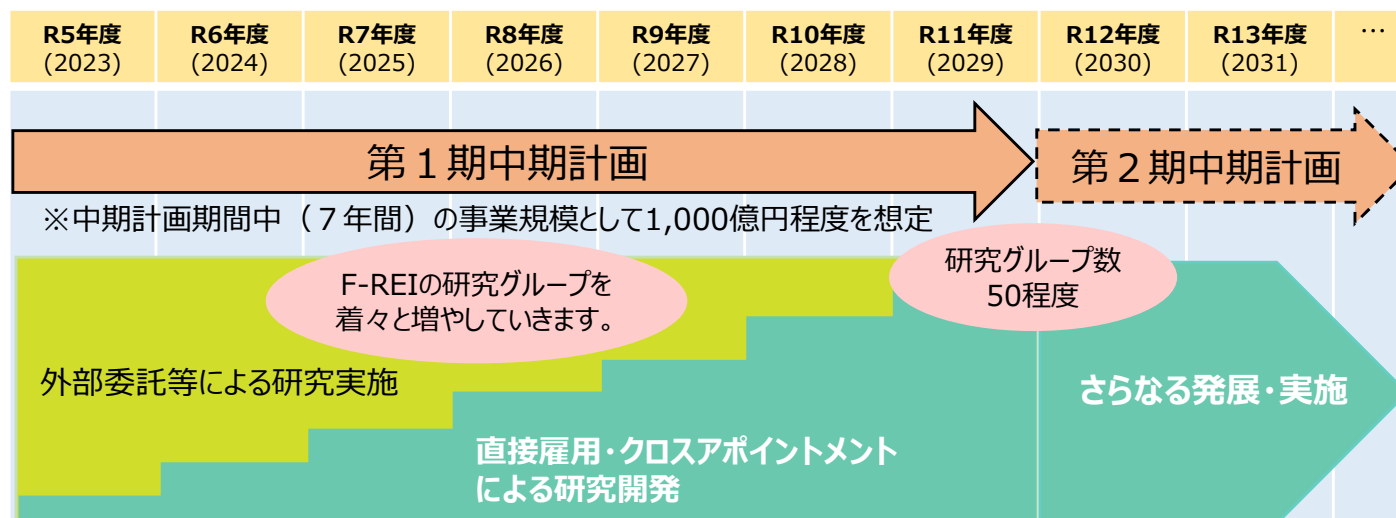
人材育成

- 大学院生等
- 地域の未来を担う若者世代
- 企業の専門人材等に対する人材育成

司令塔

- 既存施設等に横串を刺す協議会
- 研究の加速や総合調整のため、一部既存施設・既存予算を機構へ統合・集約

F-REIで取り組む研究5分野



参考資料5 行政区長一覽

1 区	佐藤 秀三	北棚塩	鈴木 敬二郎	立野中	宮田 幸雄
2 区	渡部 和彦	南棚塩	安倍 靖	立野下	矢口 貞行
3 区	大友 光正	請戸北	中村 勝	苅宿	四條 正明
4 区	峯 勝美	請戸南	安倍 一夫	加倉	大浦 泰夫
5 区	叶 経道	中浜	川口 登	酒田	田中 静夫
6 区	大清水 一輝	両竹	竹添 武	西台	武藤 栄治
7 区	豊田 伸一	畑川	山崎 時雄	藤橋	林 浩二
8 区	朝田 英洋	小丸	渡部 典一	羽附	福島 衛治
川添北	畠山 行男	井手	新開 弘紀	津島	氏家 高志
川添南	安部 善治	末ノ森	志賀 元治	下津島	今野 秀則
上ノ原	佐藤 秀雄	田尻	吉田 浩治	南津島上	紺野 宏
樋渡・牛渡	鈴木 辰行	大堀	近藤 公孝	南津島下	三瓶 禎信
高瀬	清水 淳助	小野田	植田 勝明	赤宇木	今野 信明
佐屋前	小池 清一	谷津田	宮代 信英	手七郎	佐藤 晃
幾世橋	永田 行直	酒井	高田 勝人	大昼	佐々木 保彦
北幾世橋北	佐藤 幹治	室原	宮口 勝美		
北幾世橋南	池田 陽一	立野上	加藤 修		

参考資料6 情報発信

①「あいべえなみえ」の運営

令和6年度から、公式ホームページやSNS以外にも町の持つ様々な観光情報や魅力を発信するポータルサイトの運営を開始しました。



②「浪江町内イベントカレンダー」の開始

浪江町内で活発に開催されているイベントや交流会の情報などを、町民の皆さんに分かりやすく知ってもらうため、「イベントカレンダー」の運用を開始しました。

町内各地で開催されるイベントのほか、「ふれあいセンターなみえ」の公民館事業や「道の駅なみえ」で開催される企画など、さまざまな情報が集約されています。

「イベントカレンダー」は、Googleカレンダーを活用しています。ご自身のGoogleカレンダーに、「浪江町内イベントカレンダー」を追加させることも可能です。



カレンダーを見る方法 その①

ご自身のスマートフォンやタブレットで右のQRコードを読み取りましょう。

「あいべえなみえ」内のイベントカレンダー ▶



カレンダーを見る方法 その②

グーグルやサファリなどネット検索で「浪江町イベント」と入力し、検索してください。

「うけどん」のマークの「イベントカレンダー」が出てきますので、クリックしてご覧ください。



浪江町イベント

浪江町役場関係連絡先

施設名	所在地	電話番号
浪江町役場	浪江町大字幾世橋字六反田7番地2	0240-34-2111（代表）
浪江町役場津島支所	浪江町大字下津島字松木山22番地1	0240-36-2111
浪江町役場二本松出張所	二本松市槻木253番地8	0243-62-0123
浪江町役場福島出張所	福島市渡利字舟場2番地の1	024-529-7451
浪江町役場いわき出張所	いわき市平南白土一丁目5番地12	0246-24-0020
ふれあい交流センター	浪江町大字権現堂字矢沢町40番地1	0240-23-5601
秋桜アリーナ （浪江町地域スポーツセンター）	浪江町大字権現堂字下馬洗田5番地2	0240-34-3941

うけどんファミリー



あだたらちゃん
（いとし）



うけどん
のじっち



うけどんの父



うけどん



うけどんの母



うけどん
のばっぱ



ブラックうけどん
（友達）

本日は町政懇談会にご参加いただきありがとうございました。

